

# 令和元年度 自己評価結果公表シート

すみれ幼稚園

## 1、本園の教育目標

子ども達一人一人が楽しみながら思考力を高め、創造力や判断力を培う事につとめ、絵画・音楽教育、基礎的な体力づくり等の充実した保育内容で「明るいすなおな子ども」に育っていくよう日々保育に取り組む。

本園の教育目標

- 1、明るい豊かな心をもった子ども
- 2、「ありがとう」とすなおな心をもった子ども
- 3、どんなことにも負けない我慢強い子ども
- 4、健康で心身ともに活動的な子ども

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼保連携型認定こども園以降に伴い、園則はもちろん、保護者にも新制度の理解を促し、保育機能を構築する。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育の計画性	園の教育方針・教育目標・年間目標に基づき教育課程を編成し、年度当初の職員会議にて共通理解を行う。また園児一人ひとりの年間の個人目標を教師が設定し、子どもの様々な培いへの援助を促進している。
保育のあり方 ・ 子どもへの対応	職員会議を定期的に行い、教育計画・保育計画を実践する。園児一人ひとりの発達・動向も会議で報告・検討し、全教員が共通理解のうえ、子どもの実態に合わせた保育・援助を心掛け実践している。
保育者としての能力や良識	園内新教任者研修時に就業規則・服務規律の研修を実施。又、自己評価により保育者としての能力や良識を各教職員が反省し、自己の見直しによる改善努力を行っている。
保護者への対応	園の様子の発信として園便り、学年便り、HPの行事画像の更新などを定期的実施する。又、個人面談を基本に、保護者の希望により常時面談する機会を設け関りを深めている。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育者1人1人が学校評価の主旨を理解しているが、自己点検、評価にバラつきが目立つ。  
また施設整備に力を入れ、子どもが安心して遊べる環境づくりに努力しているが、さらにチェックを欠かさず改善していく事が大切である。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
施設整備の点検補修	園舎内の設備の老朽化について改善する。 とび箱の踏み切り台購入、各部屋玩具の点検、絵本購入を検討する。
各年齢における日常保育のさらなる充実	教育・保育の内容を丁寧に分析し、新しいものと古いものとの融合を実践する。
安全管理	近くに起こりうるとされる、大地震や災害に備えて、施設面での対応と職員の意識づけの見直し。

#### 6、学校関係者の評価

先生方はいつも笑顔で保護者としてもいつも元気をもらえます。  
アットホームな雰囲気はとても良い所だと思ってます。  
行事ごとの際には、子ども達に熱心に向き合って下さり日々感謝しております。

#### 7、財務状況

今年度はすみれ幼稚園が生み出した収支差額を、すべて第二済売れ幼稚園の経費に使用した。第二すみれ幼稚園は前年度に新制度に移行し、収入が増加したため収支状況はそれ以前より改善されたが、今年度は人件費率が非常に増加したため、収支状況が悪化した。この人件費率を改善しない限り第二すみれ幼稚園の経営改善は望めず、法人全体でも財務状況の悪化が見込まれる。